こころとからだに、
おいしいものを。

ダイドーグループホールディングス株式会社

2025 年 3 月 21 日

報道関係各位

グループの研究開発機能強化に向けて「ダイドーグループ未来共創研究所」を設置

ーオープンイノベーションにより新たな価値創造をめざすー

ダイドーグループホールディングス株式会社(本社：大阪市北区、代表取締役社長：髙松 富也 以下、当社)は、3 月 21 日付で、当社グループの研究開発機能を担う「ダイドーグループ未来共創研究所」(以下、本研究所）を設置しましたので、お知らせいたします。

当社は、2030 年のありたい姿であるグループミッション 2030「世界中の人々の楽しく健やかな暮らしをクリエイトする DyDo グループへ」の実現に向けて、重要な経営課題として 8 つのマテリアリティを設定し、グループ一丸となって取り組んでおります。

そのマテリアリティの一つである「こころとからだにおいしい商品の提供」に向けて、飲料・食品を通じた健康価値創出力を高めるための基盤として、本研究所を設置いたしました。

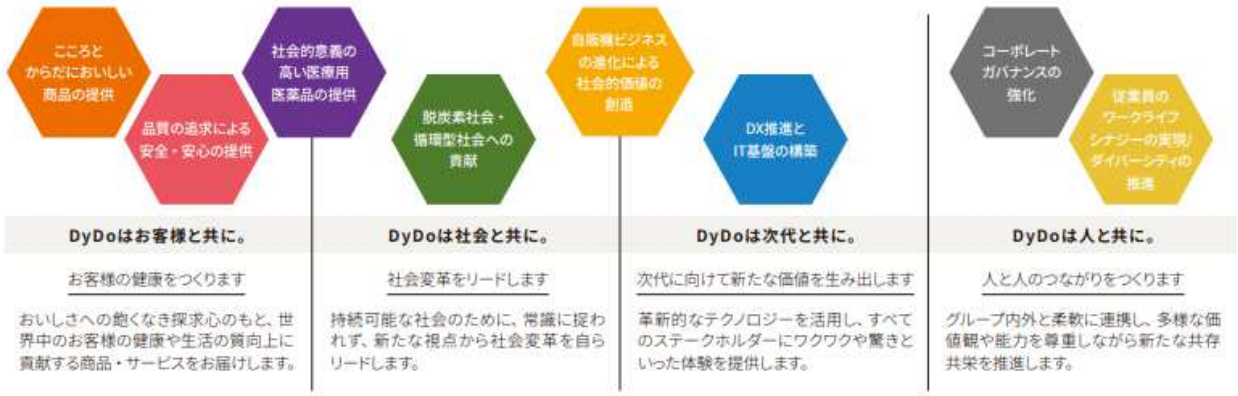
本研究所は、グループ内の研究開発の知見を有した研究員と、外部の力を活用したオープンイノベーション型の研究開発活動を推進し、飲料・食品に適用可能な新規機能性素材、並びに、それを活かす製造技術及び既存機能性素材の新規活用法などの創出をめざしてまいります。

なお、本研究所の運営においては、株式会社リバネス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長　COO：髙橋 修一郎、以下、リバネス）を共創パートナーとして迎え、支援を受けます。リバネスは、オープンイノベーション型の研究開発部門の設置や運営に豊富な経験があり、多くの研究者やスタートアップなどとの強固なネットワークを有しています。当社はこの度、リバネスの研究開発領域における専門家からサポートを受けることにより、多様な分野のスタートアップ、大学・研究機関、民間企業の研究者等とのパートナリングの推進にも取り組んでまいります。

当社は、人々の楽しく健やかな暮らしにつながる、「こころとからだにおいしい商品の提供」のための、新たな価値創造に向け、チャレンジを続けます。

【参考として、2 ページ目にダイドーグループの 8 つのマテリアリティ、株式会社リバネスについて記載しています】

（参考）ダイドーグループの 8 つのマテリアリティ



詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

https://www.dydo-ghd.co.jp/corporate/materiality/

（参考）株式会社リバネスについて

株式会社リバネスは、創業以来「科学技術の発展と地球貢献を実現する」を理念として掲げ、「サイエンスをわかりやすく伝える」をコアコンピタンスに教育・人材・研究・創業に関わるさまざまな課題の解決を事業として進めてきました。大学研究者やベンチャー企業の発掘・育成、そして中小・中堅企業や大企業との連携による新規事業創出を進めています。

詳細は、リバネスのウェブサイトをご覧ください。

https://lne.st/

DyDo グループは、「こころとからだに、おいしいものを。」をブランドメッセージに、高い品質にいつもサプライズを添えて、「オンリーDyDo」のおいしさと健康をお客様にお届けします。

＊＊＊本報道資料に関するお問い合わせ先＊＊＊
ダイドーグループホールディングス株式会社　コーポレートコミュニケーション部
〒530-0005 大阪市北区中之島 2-2-7 中之島セントラルタワー18F
TEL：06-6222-2621　FAX：06-6222-2623 E-mail：dydo-press@dydo.co.jp